

自動車整備実践研修応用編 開催内容

日時 令和6年2月24日（土）午前9時～12時
場所 田辺産業技術専門学院 自動車工学科実習場
参加者 和歌山県自動車整備振興会田辺支部青年部 7名
自動車工学科2年生 6名

内容 令和5年6月に基礎編を実施し、今年度2回目の応用編を開催。
模擬車検（継続検査）の実施。
訓練生が1チーム2名の3チームに分かれて、ディスクブレーキのキャリパーシールキット交換、ドラムブレーキのカップキット交換、ブレーキエア抜き作業、及び車検（継続検査）の点検項目、検査ラインでの確認作業を実施しました。
車は3台用意しておき、それぞれ1チーム1台を担当しました。
3台の車を各チーム点検、その後特定記録簿を作成しました。
所要時間は約2時間でした。

（車両1～3の作業及び点検箇所概要）
制動装置のディスクブレーキ、ドラムブレーキの部品交換作業
ブレーキ液交換、ブレーキエア抜き作業
車検（継続検査）の点検項目の点検
・エンジン及びエンジンルーム内点検
・灯火類の点灯や状態確認
・ステアリング関係の点検
・マフラーの状態、音の点検
・ブレーキの効き、部品の消耗状態の点検
・タイヤ、ホイールの点検
・足回り、サスペンションの点検
（検査ラインでの確認作業含む）など
特定記録簿の作成（点検内容を記録する）

作業終了後、訓練生から点検整備内容の説明、青年部の方々から総評をいただきました。総評をいただいた後、これらの車検整備に対するアドバイスなどを頂きました。

休憩を挟んで、青年部の方々と訓練生との交流会を行いました。
4月から社会へ出る訓練生に対して、仕事についての体験談、やりがい、心がけていることなどを全体にお話いただき、訓練生一人一人の質問にお答えいただきました。

<今回の整備実践研修の訓練生の感想>

- ・自分達よりも技術があり、経験もある整備のプロに見てもらえる機会は中々ないので、とても良い経験になりました。
- ・実践研修が始まる前に学院で車検の練習をしていたのですが、本番では見られているという緊張感もあって、練習通りには中々できませんでした。
- ・失敗しないように気を付けていても失敗してしまった箇所が何個かありました。その都度、良い整備方法をアドバイスして頂き、とても解り易かったです。
- ・同じ職業の先輩から、ためになる話を沢山聞けました。これからの整備作業に生かしていきたいと思います。
- ・大変、勉強になり今後一生懸命に頑張りたいと思える研修でした。
- ・2時間という短い時間での作業というのもあり、少し焦る部分もありましたが無事に24ヶ月点検を終える事ができ良かったです。点検の作業で時間が掛かってしまいましたが、講師先生方は優しく整備のコツを教えて下さり、すごく勉強になりました。

<指導いただいた先生方からのアドバイス、総評>

- ・声掛けができていない、作業を分担していて工場内はエンジン音などの雑音が多いため大きな声でしっかり声かけして怪我のないように安全作業と効率を考えてすることが大切。
- ・お客様の車の室内に入る際は必ず帽子を脱ぐように心がけて下さい。
- ・基本的な作業はできていました。経験を積んでいけば作業は速くなります。
- ・今後、仕事をしていくうえで色々な整備を経験していくと思います。大変な事も沢山あると思いますが、地道な積み重ねで頑張ってください。

<指導いただいた青年部の方の感想>

青年部員の見ている前で車検整備の部品交換・その他の点検作業など、一生懸命に取り組んでおられました。

作業の後は、今回の作業に対するアドバイスや、日頃の仕事の経験談なども交えながら交流会も行い、とても楽しい時間でした。実際に仕事をしている整備士達との会話の中で、4月から整備士として働いていく生徒の皆さんにとって何かの気づきや発見に繋がれば良いなと思っております。

自動車整備士の仕事は社会貢献度の高い業種であると思っております。

このような若い人が自動車整備士を目指してくれていることは本当に嬉しいことです。

正直簡単な仕事ではありませんが、ぜひ国家試験に合格してそれぞれの就職先で立派な整備士として活躍してください。

ただ今、我々の自動車整備士業界では、人材不足の状況にあります。大変微力ではございますが、今後もこの様な活動を継続して行っていきたいと考えております。



